松島由喜江

FF

2021.2.10

福祉法人明和会に入職した松島由

2017年2月、中途採用で社会

生活支援ワーカー 容や、福祉などの分野もあり、プラ した。 援ワーカーをしていた方が産休・育 として26年勤めていました。服飾が 支援センターラックで生活支援 喜江さん。現在、障害者就業・生活 たいと思っており、福祉にも興味が す。転職しても人と関わる仕事をし ないか」と誘っていただいたので 休に入られ欠員になり、「うちに来 た。その後、当時の明和会で生活支 祉の教員が明和会で働き始めまし イベートでも付き合いのあった福 メインの学校でしたが、派生して美 のでしょうか。 さんの、仕事に対する姿勢に迫りま ワーカーとして活躍している松島 前職は、服飾系の専門学校の教員 どのような経緯で転職された

ことはありますか。 仕事をする上で意識している

障害者就業・生活支援センターラック

あったのでお受けしました。

まで根気強く待ち、こちらから説明 難しい場合があるので、言葉になる 障害を持つ方は言葉にするのが

する時は言葉だけでなく絵や図に

中で車椅子検定を作る話に発展し、

一環で車椅子を扱った際、明和会の

です。 で進んできましたが、辛いと思うこ とは一度もなく、楽しいことばかり 識を深めました。ここまで体当たり からないと答え、自分で勉強して知 かぶりをせず分からないことは分 の知識が浅かったのですが、知った います。入社して間もない頃は福祉 して、より理解しやすいようにして

ださい。 思い出に残っている、印象深

す。 害者の就労支援に興味を持ちま 障害者施設の職員はイメージしに 事について学生に説明する機会が 務局を代々ラックの生活支援担当 アという企画を実施します。その事 がいを感じました。 た」という感想文をいただいたので 命に説明をした結果、学生から「障 介護士は理解しやすい職業ですが、 ありました。学生にとって保育士や 者が担っており、障害者施設での仕 を受け入れ、カジュアルボランティ くいもの。そう思いながらも一生懸 非常に印象的な出来事で、 夏になると中学生・高校生

また、カジュアルボランティアの

覚えたての手話で「ハローワー

私は検定の名前を「車椅子マイス 協議会を立ち上げることに。当初、 とが、思い出に残っています。 明和会の「めい」と実力の高さをイ ミング案を募りました。その結果、 体ですでに使われていたため、ネー ター」と発案したのですが、別の団 メージさせる「星」の意味を込めて 「車イスめいスター」に決まったこ

を再開させていきたいと思ってい 向けて少しずつ協議会の話し合い るを得ない状況でしたが、この夏に 昨年はコロナの影響で中断せざ



ネーミング発案者への賞品

だと気づかされました。

手話を使うことで、相手と同じ目線 喜んでくれました。筆談だけでなく

行きましょう」と伝えると、非常に

に立ち、同じ気持ちを共有できるの

な時に感じられますか。 お仕事の楽しさは、 どのよう

を見つけてステップアップするのが を受けました。自分にできないこと があればプライベートで手話講習 希望してジョブコーチ研修を受け させていただく機会があれば、自ら ず、ジョブコーチと一緒にお仕事を 自負しています。生活支援に限ら 込んでいく、好奇心旺盛な性格だと 今でも知らない分野に果敢に飛び との距離を縮めることにつながるの に行き、聴覚障害の方と接する仕事 と母によく尋ねる子だったそうで、 聴覚障害の方を担当した時、私が 々の業務に役立ち、障害のある方 私は小さい頃から「これは何?」 勉強して良かったと感じます ちょっとしたノウハウが

> します。 -最後に、今後の目標をお願い

う一度気合を入れて、 の幅が広がるよう、この1年間でも めの研修を受けられるのです。業務 があると、相談支援専門員になるた いと思っています 4年になります。5年間の実務経験 2021年の2月で、入職して丸 仕事に励みた

さん。さらなる高みを目指し、 も走り続けていくでしょう。 常にスキルアップを目指す松島 今後



社会福祉法人明和会 ■法人認可:1966年11月

■事業活動収入:22億円 ※2020年6月時点

■問い合わせ先: 0538-42-3228



































めいわ可睡保育園



めいわ可睡保育園

今回はめいわ可睡保育園の紹介です。

園長である徳永さんに、保育園の強みや思い出のエピソードなどたくさんのお話を伺いました!

主な業務とメンバー構成について

保育士、看護師、管理栄養士、調理士、パティシエ、子育て支援員 総勢22名の職員で88名の園児の保育をしています。併設してい る子育て支援センターにて、地域の子どもたちの健やかな成長 を願い、安心安全に配慮し、温かな保育を行なっています。

三つの強み

一つは自然環境に恵まれ た立地です。土地が広い ので、乳児と幼児の園庭 をフェンスで区切り、全園 児が一斉に遊んでものび のびと活動できます。年



齢に関係なく遊ぶことで、上の子が下の子の面倒を見たり、また 下の子が上の子から学んだりと良い刺激となるのです。二つ目の 強みは、バラエティに富んだ食事の提供です。管理栄養士やパ ティシエが勤務しているため、月に一度のお誕生日会やイベント 日に本格的で特別なメニューを用意しています。例えば、デミグ ラスソースオムライスやクリスマス仕様のプリンです。三つ目は、 年に一度のお米の食育イベントです。同じ法人内の障害者施設 で育てている玄米をいただき、自分たちで精米を行ない、そして ガラス鍋でお米が炊けるまで観察します。お米がどのようにして 食べられる状態になるのかを学んでいます。

独自の取り組み

玄関を明るく、開かれた場所にしています。玄関に は大きな花壇が四つあり、一つの花壇に季節の花 が200本以上植えられています。この規模の花壇 はめいわ可睡保育園の恵まれた立地だからこそ置 けるものであり、以前に袋井市のコンクールで優秀 賞をいただいた実績があるほどの立派な花壇で す。お花がたくさん咲いていると子どもたちも喜ん でくれます。「あの花咲いたね」という園児の声を聞 くと、管理している身としても嬉しく感じます。

思い出深い

初めて、子どもたちのリ ズム発表会や運動会を 見たときの感動は忘れら



れません。13年前、障害者施設からこちらへ移ってきた当初は、 発表においてどれだけできるのかわかりませんでした。しかし、 本番に強い子どもたちは、本番当日まで一生懸命練習してきた成 果をきちんと見せてくれました。今でも、発表会当日の子どもたち の真剣な眼差しを見ると成長を感じ、毎回感動しています。

園長としての仕事のやりがい

最初は内気だった子がいつのまにか、「おはよう」と元気に挨拶 をしてくれるときです。子どもの成長を見守ることができ、これほ ど保育士冥利に尽きることはありません。

園児、保護者、職員が笑顔で元気に集えるファミリーでありたい と考えます。落ち着いて考える時間と空間づくりを大切にし、創 造性豊かで主体的なあそびが展開できるよう環境整備の充実を 行ない、心の安定が図れたらと思います。



1日に密着

今回は保育士の緩鹿さんの1日に密着。 1日の仕事の流れから、業務上の工夫、 プライベートな時間の過ごし方まで、詳しくお話を伺いました。

めいわ可睡保育園 保育士 緩鹿 仁美さん

START!

●出勤前、朝の過ごし方

勤務時間によって変化しますが、6:00~7:00 の間に起床します。朝の支度をして朝食などを 済ませたあと、ニュース番組を見るなど、ごく一 般的な過ごし方をしています。

●出勤してすぐ行なうこと

シフトはかなり小刻みに調整されますが、普通 番の日ですと職場に到着するのは8:15です。 出勤したら健康状態の記録を行い、手洗いと 消毒を済ませます。新型コロナウイルス感染予 防の一環として、通勤・退勤時と勤務時で着 用する衣服を変えているため、出勤後すぐに勤 務用の服装に着替えています。

●午前中の業務

室内で製作を行なったり、天気が良ければお 散歩に行ったりするほか、縄跳びや鉄棒、マラ ソンなどの行事を開催することもあります。季節 感のある制作の内容や担当する行事の企画 を保育士たち自らが行なっているのですが、新 型コロナウイルスの影響でこれまでどおり行事 を企画・実行することが難しく、試行錯誤を重 ねる日々です。

子どもたちとともに給食を食べます。園児と同じ ものを食べながら「美味しいね」などと声をかけ ることによって信頼関係が生まれると考えてお りますので、大切な時間であると捉えています。

●午後の業務

夕方には子どもたちと一緒に部屋のお掃除をす ることがあります。子どもたちと関わる以外にも、 その日の遊戯のホワイトボードへの記入や、保護 者との連絡ノートの記入なども重要な作業です。

●退勤時間

普通番の日には17:30すぎに退勤します。

●帰宅後の過ごし方



帰宅して夕飯と入浴を済ませたら、飼っている犬 とうさぎと遊び、漫画やテレビ番組を鑑賞するな ど息抜きをしながら過ごしています。

普段のお仕事をする上で 意識したほうがよいと思うこと

信頼関係を築くことです。子どもたちとの関係に限らず、保 護者の方々や、ともに働いている職員の皆さんとの関係性 を大切にしています。信頼関係を築いていれば、あらゆること がスムーズに進むからです。また、私が担当している年中クラ スの総勢は18名ですが、多くのお子様の命を預かっていま すので、安全面には特に気を配っています。1人で大勢の面 倒を見なければなりませんので、常に全員が自分の視界に 収まる位置に立つよう、気を配らなければなりません。

自宅でのんびり過ごす休日もありますが、アクティブに 過ごす休日も。最近は、友人と一緒に法多山の紅葉ラ イトアップを見に行き、美しい御朱印をいただきました。